

愛するのは金でなく神

2025年7月20日

ヘブル人への手紙 13章5～6節
ピリピ人への手紙 4章4～20節
テモテへの手紙Ⅰ 6章6～10節

序：新生した者に求められるきよい生活（by 内住の聖霊の導き・働き）
留意すべき（欲の）領域
(1)性的（不品行、姦淫）
(2)金銭&物質（食欲、盗み）
(3)地位・権力（傲慢、闘争）

先週は(1)、今週は(2)
人を判断するのに参考になるのは、金銭感覚、金の使い方

I. 金銭を愛する生活

(1)贈り主（神）＜ 贈り物（金銭）
見えない 見える

(2)金銭（富）が生きる目的
金銭は生きる手段であって、目的ではない

(3)この世と世にあるものは有限であることを忘れている
自分の地上のいのち、人間関係、所有物
例：金持ちの農夫 ルカ 12・16～21

(4)金銭それ自体は悪ではない、扱う人間が問題（義人アブラハムやヨブも金持ち）
金（富）さえあれば、幸せになれる？
金銭は必要であり、あれば便利
しかし、誘惑のもと、破滅の原因にもなりうる（未信者、信者を問わず）
テモテⅠ 6・9～10

(5)金銭を愛する者は今持っているもので満足できない
持てば持つほど欲しくなる もっと、もっとと欲望は果てしない
金銭を愛することがあらゆる悪の根

II. 今持っているもので満足する

(1)与えてくださった神への感謝（満ち足りる心を伴う敬虔）

(2)神は私たちの必要をご存じであり、日々それを満たしてくださるという信仰

(3)多く持っている者が必ずしも幸せとは限らない（負け惜しみでなく、事実）

(4)誘惑と罟、愚かで有害な多くの欲望に陥らずに守られる

(5)信仰者であっても、金銭を愛して信仰の破船に遭い、多くの苦痛を招き寄せる危険がある

(6)神と富とに同時に兼ね仕えることはできない

(7)私たちは何もこの世に持って来なかったし、何かを持って出ることはできない

テモテ I 6・7

私は裸で母の胎から出て来た。また裸でかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。

ヨブ 1・21

Ⅲ. 主の約束・保証

(1)わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない

申命 31・6、8 カナンに入る前、モーセから後継者ヨシュアに
ヨシュ 1・5 神からヨシュアに

(2)ですから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。 マタイ 6・31～33

Ⅳ. 私たちの確信・告白

(1)主は私の助け手

天の父

羊飼い (牧者) ∴私は恐れない

(2)人は私に何もすることができない

悪魔でさえも、主が許容した範囲内でのみ、人を試すのみ

神の力強い、確かな保証のことばに対して、私たちも同じく強い確信をもって
応答する

Ⅴ. 適用

金銭にたいする健全な考えと実践

①私は、金銭(富)の所有者ではなく、神に管理を任されている管理者
後に収支決算を提出しなければならない(金銭だけでなく、時間や賜物も
どのように用いたか、成果は?)

②主へのささげものは最初に取り分けておく(十分の一+他)

将来のために十分の一を貯える

残りを生活の必要のために使う

③死蔵するのではなく、活用する

経済は循環することで成り立つ

④支出が分かっているものは前もって用意しておく

⑤安易、不用意な金銭の貸し借りをしない(トラブルのもとになる)

⑥日常の金銭の取扱いにおいて、神への信仰と人への誠実が必要